

している」ことを理由とする者の割合は平成9年の調査（男性3.4%、女性1.5%）と比較すると大きく増加している（表1-2-26）。

高齢者の雇用情勢をみると、平成16（2004）年の完全失業率は、55～59歳で3.7%、60～64歳で5.7%、65歳以上で2.0%、また、同年10月の有効求人倍率は、55～59歳で0.31倍、60～64歳で0.29倍、65歳以上で1.09倍と、前年と比べいずれも改善に向かったが、年齢層を問わず厳しさの残る雇用情勢（全年齢合わせた完全失業率は4.7%、有効求人倍率は0.88倍）の中でも、

高齢者、とりわけ60～64歳の年齢層の雇用情勢は依然として厳しいものとなっている（図1-2-27）。

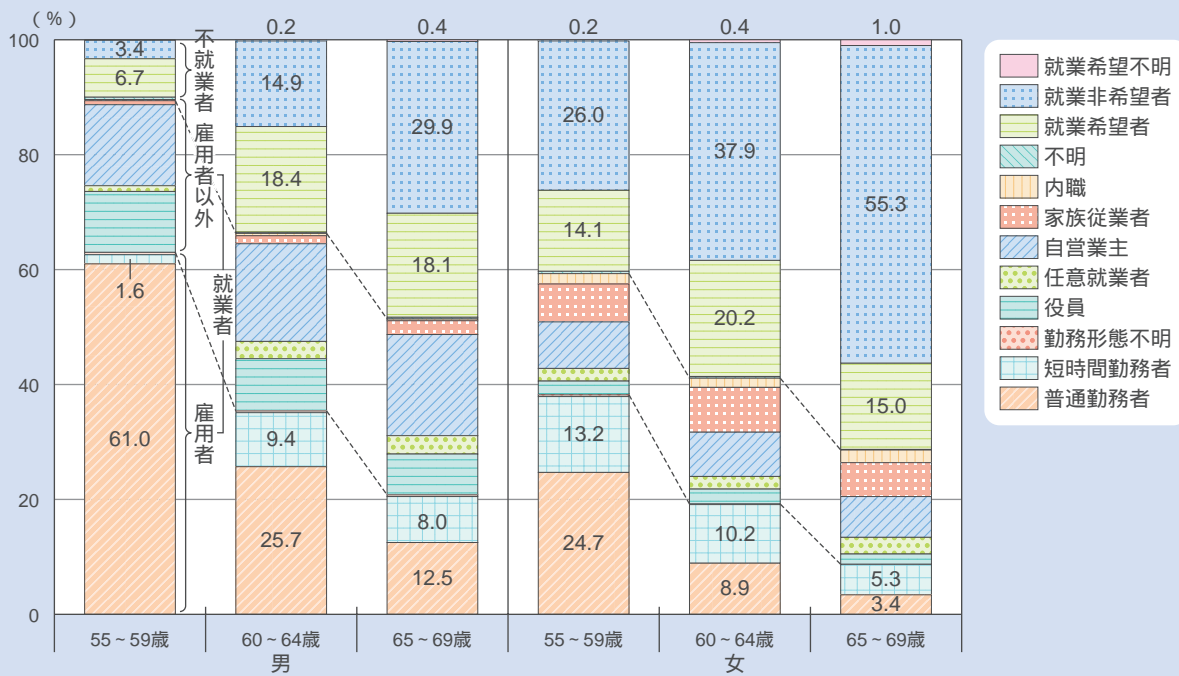
### 3 高齢者と健康・福祉

#### (1) 高齢者の健康

##### ア 健康状態

高齢者の健康状態についてみると、平成13（2001）年における65歳以上の高齢者（入院者を除く。）の有訴者率（人口1,000人当たりの病気やけが等で自覚症状のある者の数）は502.7と半

図1-2-25 高齢者の就業・不就業状況



資料：厚生労働省「高齢者就業実態調査（平成12年）より作成

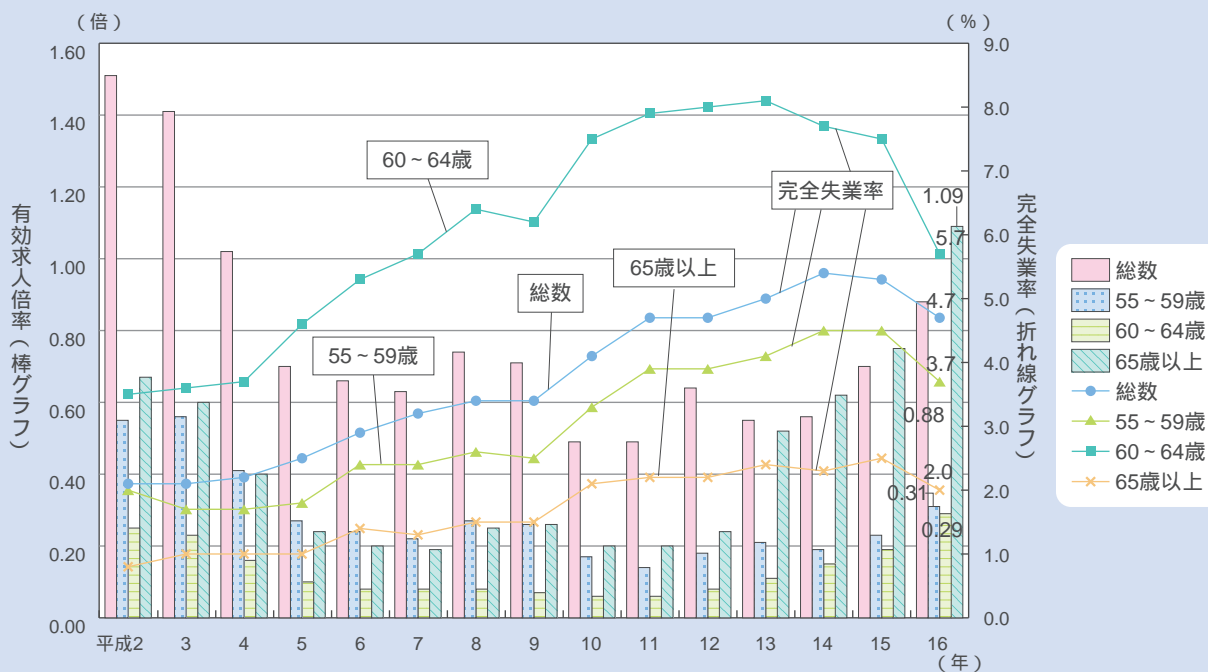
表1-2-26 高齢就業希望者の就業希望理由別割合

		失業している	収入を得る必要が生じた	知識や技能を生かしたい	社会に出たい	時間に余裕ができた	健康を維持したい	学校を卒業した	その他
男	65歳以上	8.1	13.3	15.1	4.2	8.6	36.1	-	14.2
	65～74歳	9.0	13.7	14.6	4.5	9.2	35.2	-	13.6
	75歳以上	3.2	10.9	17.9	2.6	5.3	41.5	-	18.1
	(参考) 35～64歳	51.4	11.6	8.4	4.4	3.7	9.9	0.0	10.2
女	65歳以上	3.4	20.1	6.9	4.6	11.4	32.7	-	20.1
	65～74歳	3.7	20.6	6.7	4.7	11.9	32.1	-	19.8
	75歳以上	1.9	17.4	8.3	4.4	8.6	36.3	-	22.0
	(参考) 35～64歳	11.1	30.6	8.9	9.9	19.0	7.4	0.0	12.9

資料：総務省「就業構造基本調査」（平成14年）

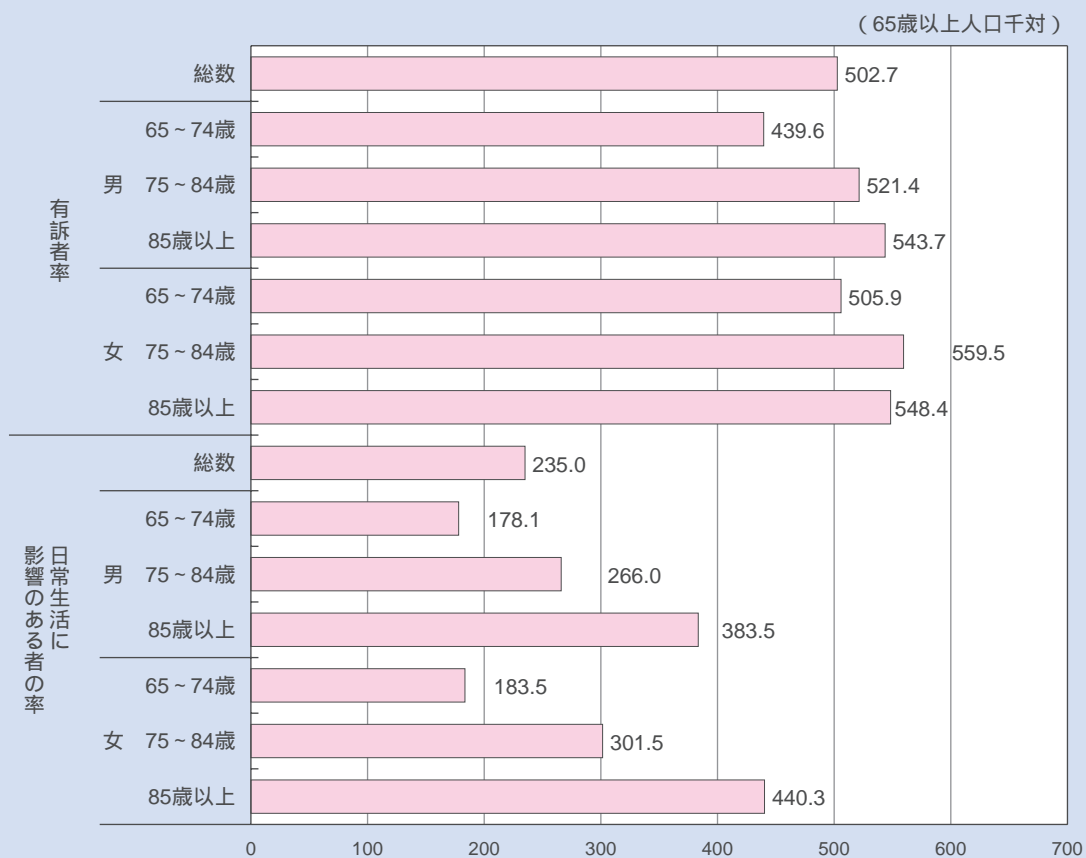
(注) 就業希望者とは、15歳以上の無業者のうち「何か収入になる仕事をしたいと思っている者」を指す。

図1-2-27 年齢階級別にみた完全失業率、有効求人倍率



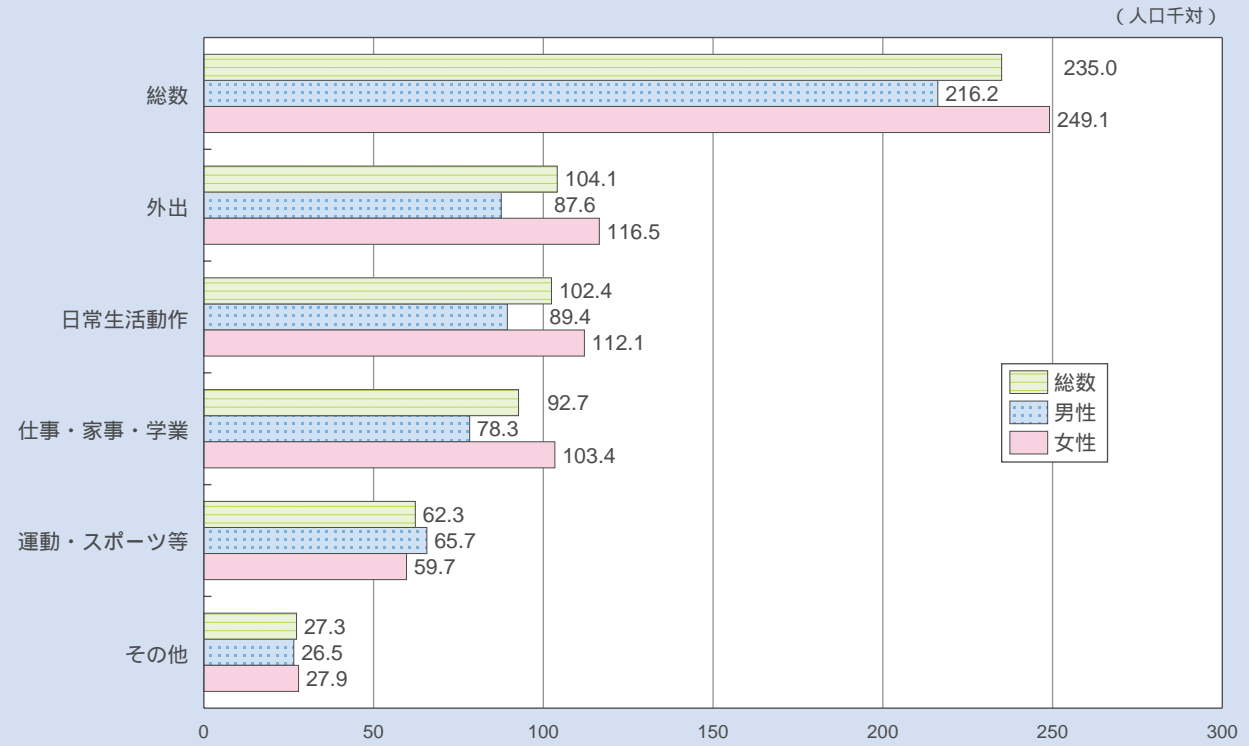
資料：総務省「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」  
 (注)「完全失業率」は年平均、「有効求人倍率」は各年10月の値である。

図1-2-28 65歳以上の高齢者の有訴者率及び日常生活に影響のある者の率



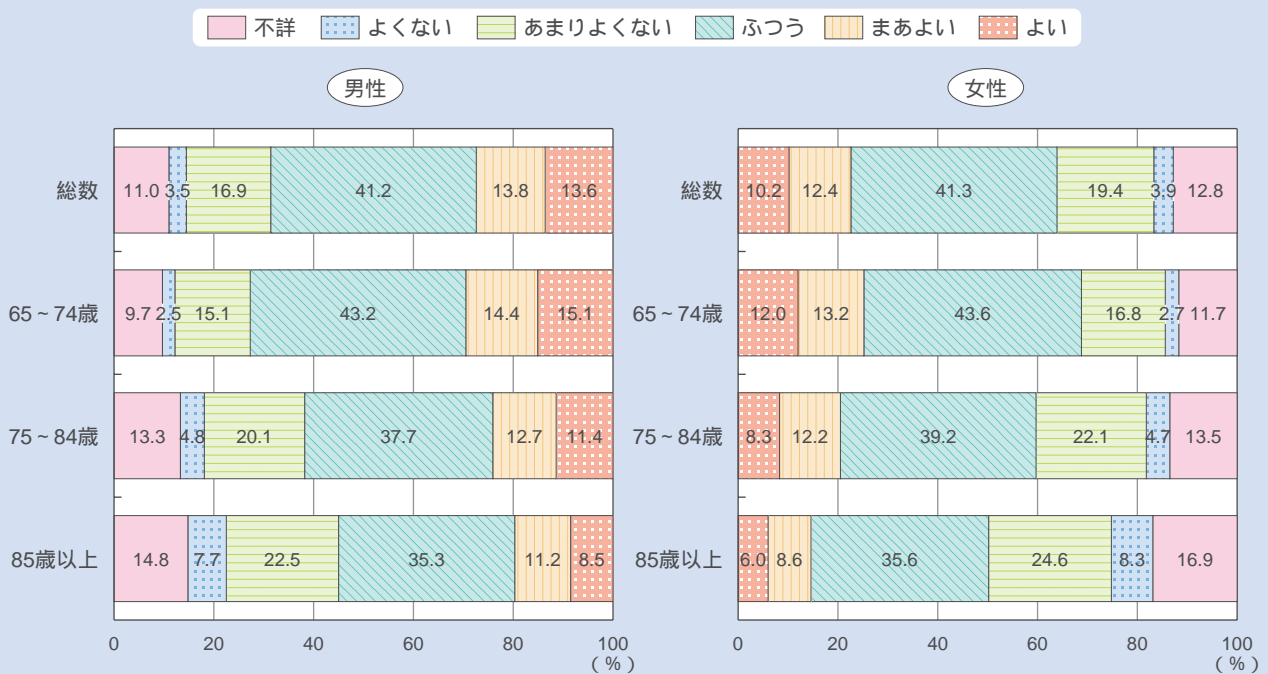
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査(平成13年)」

図 1 - 2 - 29 65歳以上の高齢者の日常生活に影響のある者の率（複数回答）



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査（平成13年）」

図 1 - 2 - 30 65歳以上の高齢者の健康についての意識



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査（平成13年）」

数以上の者が自覚症状を訴えている。

一方、日常生活に影響のある65歳以上の高齢者（健康上の問題で、日常生活の動作・外出・仕事・家事・学業・運動・スポーツ等に影響のある者。入院者を除く。）の割合は、平成13（2001）年において、高齢者人口1,000人当たりで235.0と、有訴者の割合と比べると半分以下になっている。これを年齢別、男女別にみると、年齢層が高いほど大きく上昇し、またいずれの年齢層においても女性が男性を上回っている（図1-2-28）。

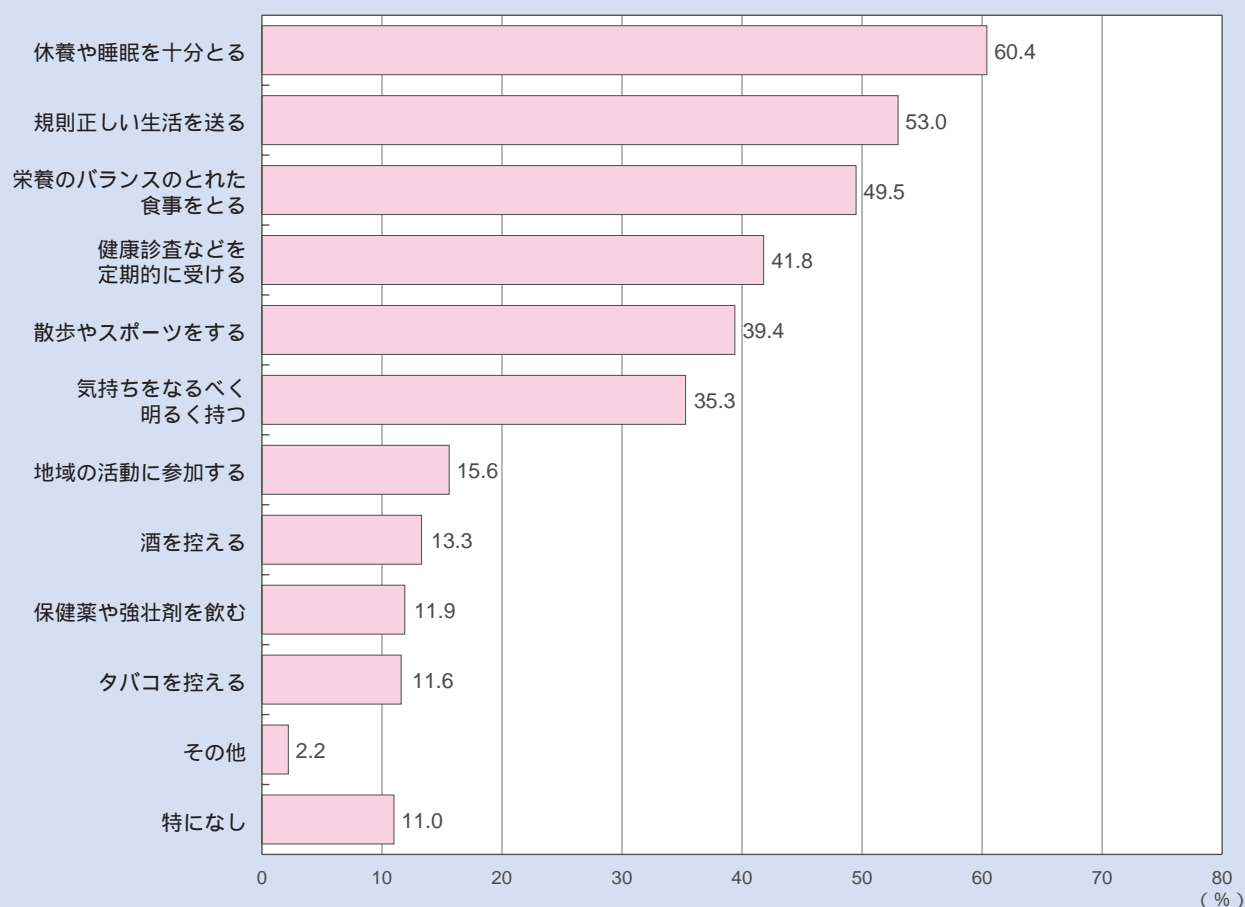
この日常生活への影響を内容別にみると、外出（時間や作業量などが制限される）が104.1、日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴な

ど）が102.4と高くなっており、次いで仕事・家事・学業（時間や作業量などが制限される）が92.7、運動・スポーツ等が62.3となっている。男女別では、男性は日常生活動作、女性は外出が最も高くなっている（図1-2-29）。

健康についての高齢者の意識をみると、「よい」「まあよい」「ふつう」と思っている者の割合（入院者を除く。）は、男女とも、65～74歳では3分の2以上、85歳以上でも2分の1以上を占めている（図1-2-30）。

これを先にみた高齢者の有訴者率と比較すると、高齢者は、何らかの自覚症状があっても、必ずしも健康状態を悪いと意識しているわけではないことがうかがえる。

図1-2-31 健康の維持増進のために心掛けていることの内容（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」（平成14年）  
（注）全国65歳以上の男女を対象とした調査結果

## イ 健康の維持増進のために心掛けていること

高齢者が健康の維持増進のために日ごろ心掛けていることについてみると、「休養や睡眠を十分とる」が60.4%と最も高く、次いで「規則正しい生活を送る」53.0%、「栄養のバランスのとれた食事をとる」49.5%の順となっている（図1-2-31）。

また、健康診断等の受診についてみると、65歳以上の高齢者のうち約6割の者が、過去1年

間に健康診断や人間ドックを受けたことがあるとしている（表1-2-32）。

## ウ 傷病状況

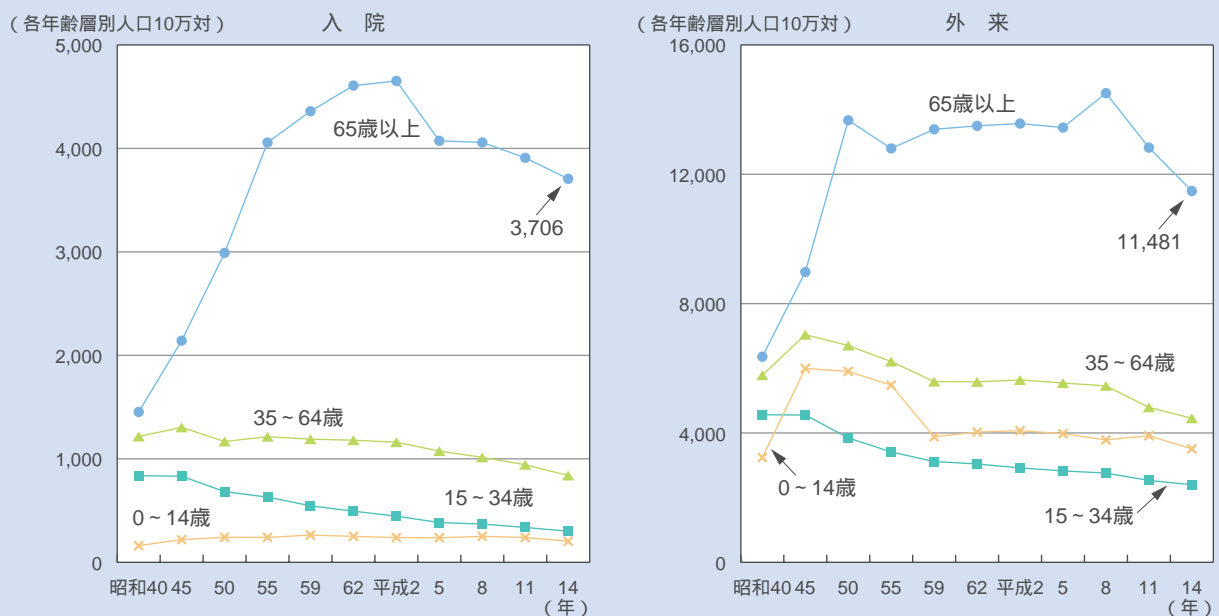
65歳以上の受療率（高齢者人口10万人当たりの推計患者数の割合）は、平成14（2002）年において、入院が3,706、外来が1万1,481となっている。これは、調査日に、65歳以上の高齢者の3.7%が入院しており、11.5%が外来を受診して

表1-2-32 過去1年間の健康診断等の受診状況

年齢階級	世帯人員数（単位：千人）		
	総数	過去1年間に健康診断や人間ドックを受けたことがある	受けたことがない
総数	97,307（100.0）	58,745（60.4）	34,370（35.3）
20～24歳	7,394（100.0）	3,313（44.8）	3,778（51.1）
25～34	16,799（100.0）	8,746（52.1）	7,591（45.2）
35～44	15,335（100.0）	9,313（60.7）	5,635（36.7）
45～54	19,338（100.0）	12,837（66.4）	5,979（30.9）
55～64	16,151（100.0）	10,801（66.9）	4,676（29.0）
65～74	13,535（100.0）	8,843（65.3）	3,782（27.9）
75～84	6,771（100.0）	3,974（58.7）	2,132（31.5）
85歳以上	1,984（100.0）	917（46.2）	797（40.2）
（再掲） 65歳以上	22,290（100.0）	13,734（61.6）	6,710（30.1）

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査（平成13年）」  
 （注）健康診断等の受診状況の「総数」には「不詳」を含む。  
 （ ）内は「総数」に対する構成割合（単位：％）

図1-2-33 受療率の推移



資料：厚生労働省「患者調査」

いることを示している。他の年齢階級に比べて高い水準であるが、近年は安定的に推移している（図1-2-33）。

高齢者の受療率が高い主な傷病をみると、入院では、脳血管疾患（男性718、女性900）、悪性新生物（がん）（男性520、女性263）となっている。外来では、高血圧性疾患（男性1,368、女性1,953）、脊柱障害（男性1,174、女性1,269）となっている（表1-2-34）。

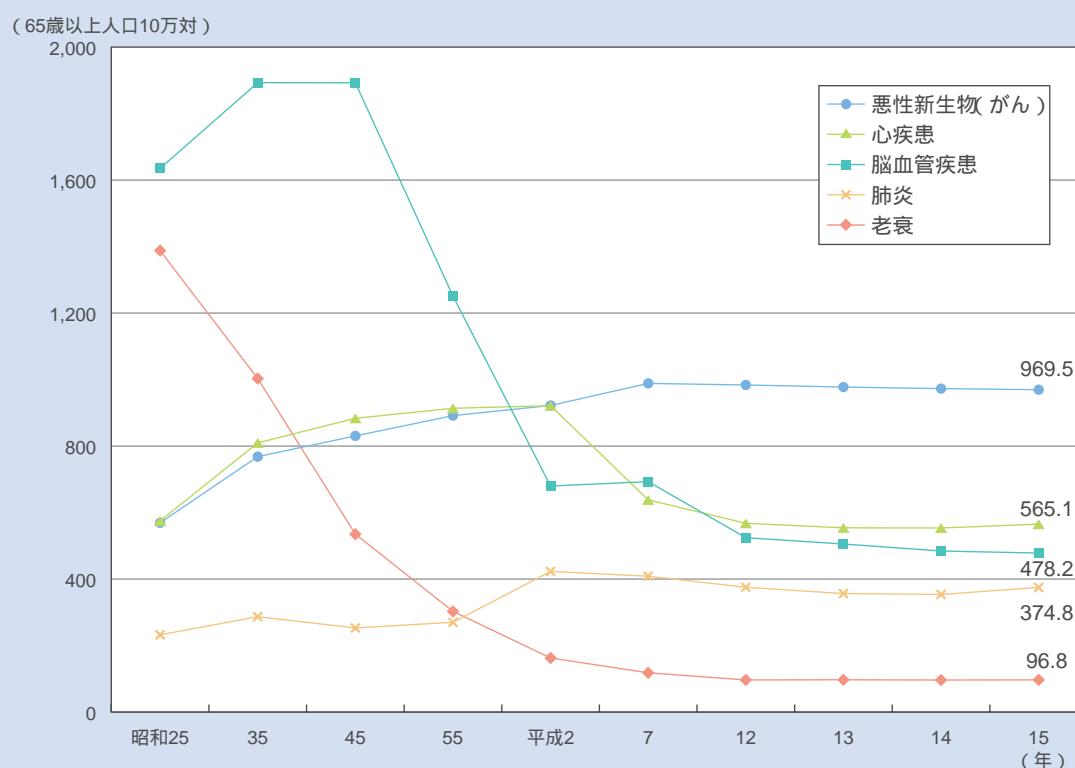
高齢者の死因となった疾病をみると、65歳以上の高齢者人口10万人当たりに対する死亡者数を示す死亡率は、平成15（2003）年において、悪性新生物（がん）が969.5と最も高く、次いで心疾患565.1、脳血管疾患478.2の順になっており、これら三つの疾病で高齢者の死因の約6割を占めている（図1-2-35）。

表1-2-34 主な傷病別にみた受療率（人口10万対）

		男			女		
		65歳以上	65～74歳	75歳以上	65歳以上	65～74歳	75歳以上
入院	総数	3,518	2,593	5,125	3,843	1,940	6,000
	悪性新生物	520	455	635	263	218	314
	高血圧性疾患	28	15	52	68	16	127
	心疾患（高血圧性のものを除く）	188	115	316	222	70	393
	脳血管疾患	718	434	1,210	900	277	1,606
外来	総数	10,858	9,879	12,560	11,935	11,414	12,526
	悪性新生物	419	371	504	208	216	199
	高血圧性疾患	1,368	1,229	1,609	1,953	1,636	2,311
	心疾患（高血圧性のものを除く）	466	357	655	419	270	589
	脳血管疾患	454	346	644	382	240	543
	脊柱障害	1,174	1,007	1,465	1,269	1,190	1,359

資料：厚生労働省「患者調査（平成14年）より作成

図1-2-35 65歳以上の高齢者の主な死因別死亡率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」